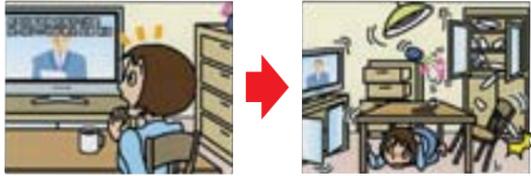


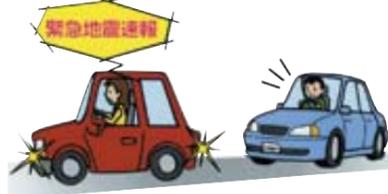
### 家庭では

- ・頭を保護し丈夫な机の下などに隠れる
- ・あわてて外へ飛び出さない



### 自動車運転中は

- ・あわててブレーキをかけない
- ・ハザードランプを点灯し、揺れを感じたらゆっくり停止する



## 緊急地震速報「利用の心得」

### 鉄道・バス乗車中は

- ・つり革、手すりにしっかりつかまる



周囲の状況に応じてあわてずにまず身の安全を確保する！

緊急地震速報は見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間が数秒から数十秒しかありません。その短い間に身を守るための行動を取る必要があります。

### エレベータでは

- ・最寄りの階で停止させすぐに降りる



### 人が大勢いる施設では

- ・係員の指示に従う
- ・落ちついて行動する
- ・あわてて出口に走り出さない



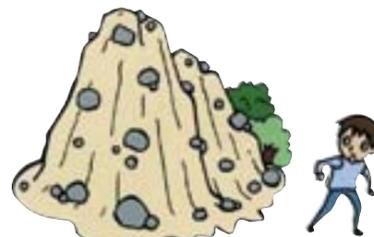
### 屋外(街)では

- ・ブロック塀の倒壊などに注意する
- ・看板や割れたガラスの落下に注意し、ビルのそばから離れる



### 山やがけ付近では

- ・落石やがけ崩れに注意する



## 地震の到達をお知らせします

# 緊急地震速報がスタート

気象庁では、10月1日から緊急地震速報をスタートします。これは、地震による強い揺れを事前にお知らせして、地震災害の軽減を目的とするものです。

### 緊急地震速報のしくみ

緊急地震速報は、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）の地域の名前を強い揺れがくる前に、テレビやラジオなどを通じて、数秒から数十秒前にお知らせするものです。



- 「緊急地震速報」は、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算します。地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、素早くお知らせします。
- ただし、震源に近い地域では、「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

「緊急地震速報」についてのお問い合わせ先  
気象庁地震火山部管理課  
☎ (03) 3212-8341